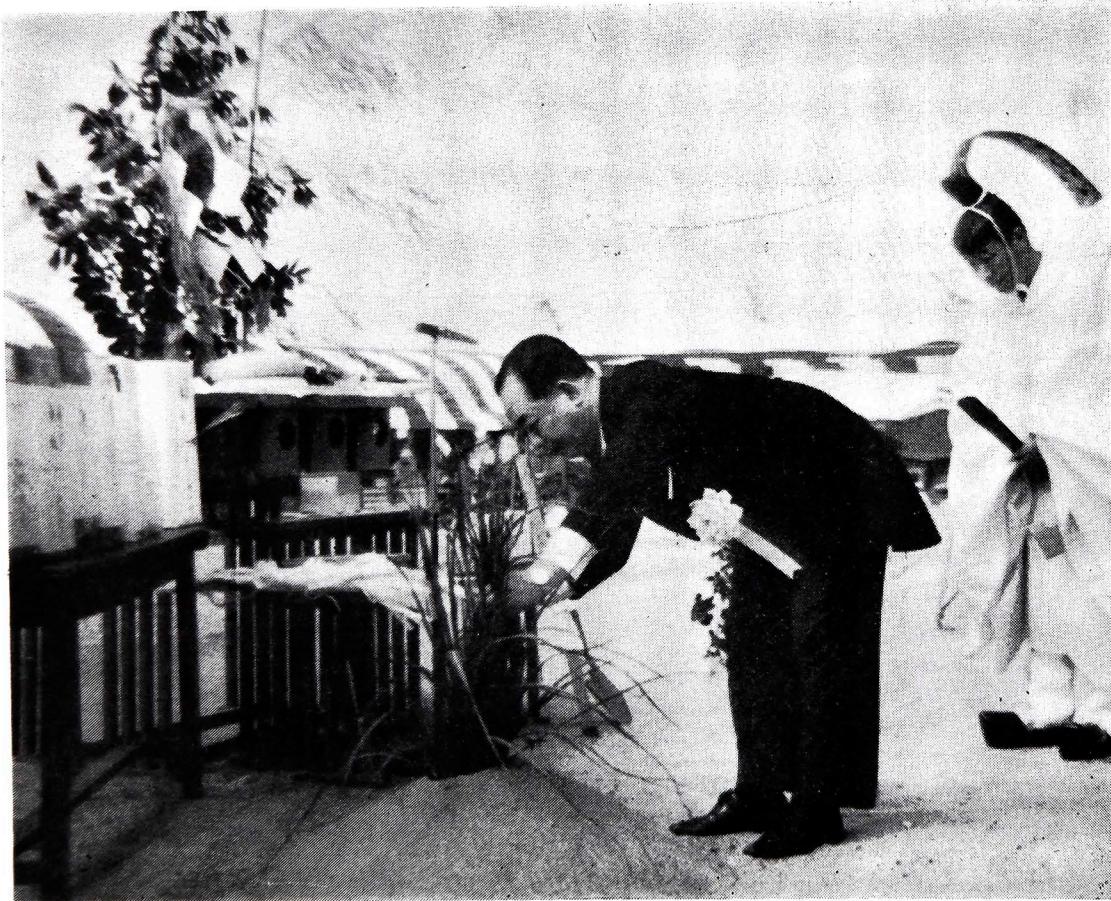


捨てないで!! あなたも私もきれいな川のお守役

(入中) 稲垣洋子

■工事関係者の玉串奉てんが  
■紅白の幕を張りめぐらした  
中央には祭壇が設けられ、  
神主独特の莊重な声が神秘  
さをかもし出す。

■役場庁舎新築工事の起工式  
は、台風二号の影響で真夏  
を思わせるような炎天とな  
った七月六日、高登地内の  
建設現場へ関係者多数が参  
列して行なわれました。



いづみせん

No. 161

富山県入善町役場  
池原印刷所  
発行 印刷

昭和45年7月20日発行

工事の安全を祈り

## 役場庁舎起工式



鳴田町議会議長の鎮物（しづめもの）の儀式  
← 庁舎起工式でカマ入れを行なう柚木町長

7・ふみづき

人口 28,131  
(男 13,160 女 14,971)  
世帯数 6,552  
7月1日 住民登録数

町議会報告

## 第六回 入善町議会臨時会

## 漁港建設費 など

第六回入善町議会臨時会は去る六月八日に開かれ、今年度の一般会計補正予算や土地改良事業に対する補助金交付等について審議されました。その模様はおおむね次のとおりです。

区分	提出件数	可決、採択	継続審査
予 算	1	1	
条 例 案	1	1	
議 決 案	3	3	
議 会 議 案	1	1	
報 告	1	1	
計	7	7	
請 願	8	7	1
陳 情	1		1

○底工去施丁ニ半う固定資本免  
度額も決め、総額において最高額  
は新屋土地改良区への一千七百  
七十一万円、最低は柄山土地改  
良区への六百四万円となりまし  
た。

黒東口坐  
校運動場  
整備に關  
する請願  
・鶏ふん放  
棄による

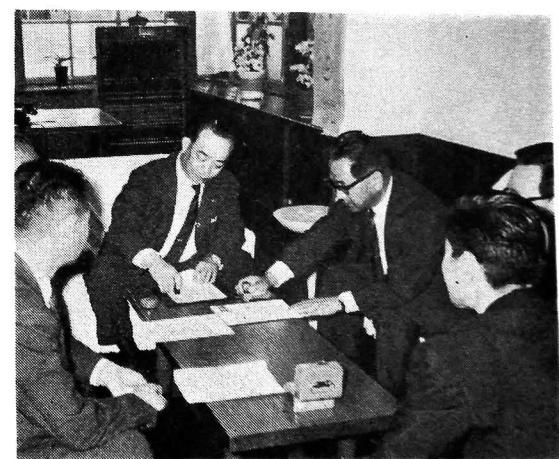
— 1 —

卷之三

— 1 —

## 校運動場

A black and white photograph of a man in a dark suit and tie, looking down at something in his hands. He has dark hair and is wearing glasses. The background is blurred.



第7回入善町議会臨時会  
主体工事は鴻池組に

## 役場庁舎工事契約をはかる

予算総額七億六千百万元に歲入歳出それぞれ五千五百五十一万八千円が追加され、今年度の三回目の補正でもって、八億一千二百五十一万八千円となりました。その主なうちは、水産業費の国庫補助が三千三百五十万円も追加されたのをはじめ、農地等の災害復旧費に対する県からの補助金六百三十六万円、前年度からの繰越金八百万円などです。一方歳出では、漁港管理、漁港建設費等に三千五百八十六万円、道路新設改良のための工事請負費六百万円、漁港災害復旧事業の工事請負費八百九十六万円などで、いづれも建設的な事業に使われるものです。

○土地改良事業に対する補助金

- 医療保険制度の改革に関する  
決議（議会議案）
- ・勤労者負担の増加を強い、人間、親子関係を疎外する勤労者の保険の家族の分離は行なわないことなど。
- 採択された請願
- ・舟見地区簡易水道新設補助に対する請願
- ・新屋共同簡易水道建設に対する助成方請願
- ・神子沢地区浪害に伴う災害復旧事業の補助についての請願
- ・四十四年八月水害補償問題の解決促進対策に関する請願
- ・邑町共同井戸構築の掘さく工事補助金交付の請願
- ・中南、中北部落簡易水道新設

# 第7回入善町議会臨時会 主体工事は鴻池

（青木町組、東坪の一部）

- 五十里公民館新築に伴う助成方
- 福島、福島新火葬場統合新設に伴う助成方
- 下上野簡易水道施設に対する補助金交付方
- 採択された陳情
- 県道入善舟見線路面拡張の早期実施
- 扇原工場からであるばいじんによる被害防止について
- 入善十二区八幡簡易水道組合
- 井戸さく井についての助成方

第二十回 社会を  
明るくする

みんなで摘もう

昭和四十四年度土地改良事業  
施行に対する補助金は、昭和五  
十七年度までの期間を定めて限

■ 青木西部簡易水道建設に対する助成方請願

○エレベーター工事  
五百二十万円

入善町社会福祉協議会  
善町保護司会

## 1階は住民課、税務課、民生課、出納室

## 町長室、教育委員会は2階



基礎工事の始まつた役場庁舎は、鉄筋コンクリート四階建、延べ四、一七九・八二六平方メートルの大きな建物ですが、各課の配置予定は次のようになつております。このほかに車庫や自転車置場も作られます。

一階（九九六・一九〇m<sup>2</sup>）

住民課・待合室・相談室・民

生課・保健相談室・税務課・

出納室・収入役室・監査室・

機械室・男女ロッカーハー室・宿

直室・小使室

二階（九九六・一九〇m<sup>2</sup>）

総務課・企画財政課・教育委

員会事務局・町長室・助役室

秘書室・応接室・会議室・教

育委員教育長室・記者室・職

員研修室・機械室・事務機械

室・第一、第二会議室・暗室

三階（九〇一・三九〇m<sup>2</sup>）

建設課・農政課・商工水産課

製図室・大會議室・第三、第

四会議室・控室

四階（一、二〇三・七九〇m<sup>2</sup>）

議会事務局・議場・議員控室

議長副議長室・議長応接室・

全員協議会室・常任委員会室

和室・控室・電話交換室

庁舎は国道八号線に平行して建られ、エレベーター、暖房完備のすばらしいものです。開町以来の念願であったこのヶ所に分散していた役場機構も一ヶ所に集められ、住民へのサービス強化と、事務能率の向上が期待できます。

(写真は役場庁舎完成予想図)

## 勤労者を対象に

## 栄養教室



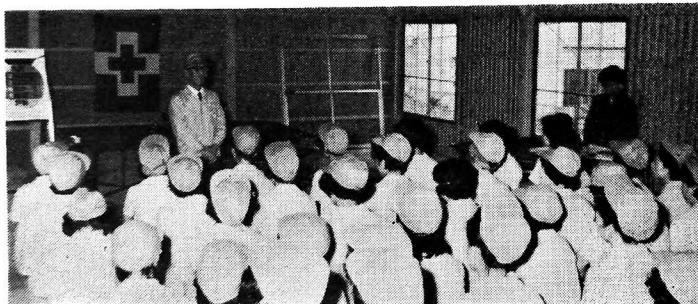
▼松本鉄工所で勤務時間に▲

昭和三十七年から始められている入善町栄養教室は、今年で八年目を迎えますが、今年から新しく、勤労者だけを対象とした勤務時間内の栄養教室が開設されることになり、その成果が期待されています。

この栄養教室は入善機械工業センター内にある松本鉄工所で開設されるもので、社長の松本伊作さんの深いご理解と、絶大な協力があつて開設に及んだものです。

去る六月二十五日午後三時三十分、そいの作業服に帽子をかぶった松本鉄工所の工員さんたち四十名が、事務所二階の講堂に集まりました。

松本学級と名付けられたこの学級の学級生は、登録人員五十名です。



(写真は松本学級開級式)

四会議室・大會議室・第三、第四会議室・控室

五会議室・農政課・商工水産課

六会議室・大會議室・暗室

七会議室・議場・議員控室

八会議室・議長応接室・

九会議室・常任委員会室

十会議室・控室・電話交換室

ひとりが関心をもってそれぞれの分野で住みよい町づくりを心がけたいのです



皆さん方に喜んで勉強していたところといたしました。月に一度の教室ですし、勤務時間とはいえ生産能率が低下するとは思いません。しっかりと勉強して家庭でも大いに役立て下さい」と力強く励ました。松本学級を担当することになった町の教育委員会の田中栄養士も、今年初めて試みられた勤労者対象の栄養教室とあって、いささか緊張気味でしたが、熱心に耳を傾ける学級生を前に、つゆ時の食品衛生や食品添加物について講議を行ない、鯨肉やレバーなどをフルに使った夏まけを防ぐ食物の調理実習も行なつて、この日は六時十五分に終りました。

この種の栄養教室は、事業主の理解と協力が得られなければ開設することは困難ですが、松本学級での成果を検討して、来年はもっと増やしたいというのが町の教育委員会の方針です。

屋階（八二・二六六m<sup>2</sup>）  
水槽室・機械室・錫音室

## 入善ライオンズクラブ誕生

盛大に

### 認証状伝達式

■ 富山県では二十二番目 ■

昨年の十月に結成された入善ライオンズクラブに対する、ライオンズ国際協会からの認証状伝達式(チャーチナイト)は去る六月十四日、入善高等学校体育館にラザークラブ会員や来賓など八百名が参列するなかで盛大に行なわれました。

式典は開式ゴシングで始まり、山田ライオンズ国際協会会长代理から松本伊作会長に認証状が手渡され、日本では一、四五三番目、富山県では二二番目のクラブとして国際的にも広く認識されることになりました。このライオンズクラブとは、"自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる"というライオンズ綱領のそれぞの英語の言葉の頭文字をとつてライオンズといい、会員数においては世界一四五ヶ国にわたり、九〇万人を超えるといわれる世界最大の奉仕団体です。

入善町へ消防司令車など寄贈

ヤーチナイトを記念して次のような記念事業を行ないました

入善町へ

消防司令車 一台



入善高等学校へ  
テナーサックス  
コルネット  
テープレコーダー  
入善中学校へ  
テナーサックス  
コルネット  
入善町立小中学校十五校へ  
110積算式ストップウォッチ 各一個  
ボーリスカウト富山第四団  
ガールスカウト富山第一団  
野外天幕

入善町立小中学校十五校へ  
各一張  
入善町立小中学校十五校へ  
各一個  
ボーリスカウト富山第四団  
ガールスカウト富山第一団  
野外天幕

現在四十三名の会員からなる  
入善ライオンズクラブですが、  
ライオンズ綱領を踏まえながら  
友愛と寛容の精神をもとに入善  
町を中心とする地域社会への奉  
仕を心がけたいとのことです。  
私たちも、このライオンズク  
ラブ会員の心を理解し、「火事  
は消すより出さぬ用心」をモッ  
トイに、明るい町づくりに協力  
したいものです。



### 耳よりも

### 年金の話し

#### 所得比例制度できる

国民年金制度は、発足以来今までに定額拠出、定額給付で将来の老後生活の設計を十分に考えている人たちには、何となくものたりなさを感じさせたきらいがありました。

しかし、より多くの掛け金をしても、厚生年金など他の公的年金並みの給付を受けたいといふ声が強まってきたため、從来の定額給付に加えて、この十月からは所得比例制度が設けられます。

のんだタバコが  
40.000.000本  
—44年度—

昭和四十四年度に入善町で売られたタバコの総本数は三九七〇万五八六〇本。

これをたてにつなぐと三一七

六キロ余まりとなり、立山の高さの千倍以上、横に並べると入

善、東京間を四回以上も往復で

きます。

ちなみに昨年

日本全国で消費

されたタバコの

長さは月までの

距離を二十二往

復するというか

ら驚く。

お陰で町へは

二六一六万円の

タバコ消費税が入った。

タバコ消費税が入った。

話は違うが入善駅で急行列車

を止めて貰うためには、急行券

を購入するようになります。

よくかわすためには、毛布

をひだ寄せにして、毛布の内側

にはさみ棒をして風通しをよく

します。何枚も毛布をほす場合

は、同色、同種類別にまとめて

ほし、見た目にも美しさを感じ

させるようにならなければ

なりません。

奥さんもそうなさっては

……

ます。

より充実した年金を」と希望される方は、ぜひこの制度に加入しましょう。(電話七二五一〇〇番)

加入申込みは、

八月上旬頃年金委員を通じて配

布されます申込書によつて簡単

にできます。くわしくは、住民

課の年金係へどうぞ。(電話七

二五一〇〇番)

加入申込みは、

八月上旬頃年金委員を通じて配

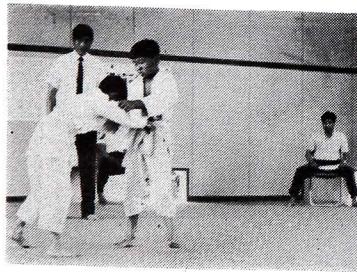
布されます申込書によつて簡単

# 万ーにそなえ貯蓄を心がけましょう

(5) 広報にゆうぜん

が披露され、豆柔道家たちもうが、さすが黒帯と思わせる一瞬のすきをついた技をみせる中学生もありました。島浩四段による意気の合った投げの形が、道原英克二段と高山吉輝二段による意気の合った投げの形が披露され、豆柔道家たちもう

- 中学生個人戦
- 一位 軽量級一位 江畑直治(舟)
- 二位 三位 飯野中学校 中陳靖孝(入)



## 中学団体は舟見に栄冠

入善町柔道大会開く

第八回入善町柔道大会は、六月二十八日、新装なった入善高校武道場へ選手、役員、一般観衆合せ約百五十人が集まって開かれました。

“エイッ”との黄色い気合と共に見事に決まった背負投げ。組み手を放し「一本」を確認する両者の様に、拍手に笑いがまじる小学生の試合もありましたが、さすが黒帯と思わせる一

優勝 白軍  
優秀選手 宝泉久志  
橋本三智雄  
池原公治

試合成績は次のとおりです。

○小学生紅白試合

重量級	中量級	軽量級
三位 伊野祐二(飯)	三位 草野晃(舟)	三位 伊野祐二(舟)
二位 江畑智(舟)	二位 江畠守(入)	二位 山本真司(舟)
三位 木下勲(舟)	三位 伊野祐二(舟)	三位 広沢求(入)
一位 道原英克(入善柔道協会)	一位 道原英克(初、二段)	一位 松下修司(入善柔道協会)

●採用予定人員

北陸三県内 一二〇人

京浜、京阪神地域 一〇〇人

応募資格 昭和十四年四月二日～同三十一年四月一日までに生まれた中学校卒業程度の学力ある男子または、来春高等学校卒業予定の二十才以下の男子

試験 八月二十三日(日)富山、高岡の各郵便局で簡単な筆記試験と面接

募集締切り 八月十日

くわしくお知りになりたい方には入善郵便局へおたずね下さい

# 健をまもる 保険税

## われらの費用はわれらの負担

七月には保険税の納税通知書が届いたことと思います。国民健康保険加入世帯にかかる税金は、一世帯平均で、二万四千円近くになる見込みです。これは、馬鹿にできない金額ですが、この保険税は一体どのように使われるのでしょうか。

七月には保険税の納税通知書が届いたことと思います。国民健康保険加入世帯にかかる税金は、一世帯平均で、二万四千円近くになる見込みです。これは、馬鹿にできない金額ですが、この保険税は一体どのように使われるのでしょうか。

勿論、国保会計の赤字を防ぐために国や県からの補助金も来ておりますが、町自身も一般会計から五〇〇万円の繰り足しをして保険税が少しでも高くならないよう、国民健康保険の運営がうまく行くように努力を続けております。

要するに私たちの納める保険税は、本当に役場では、私たちから徴収した税金を倍以上にして私たちに返している勘定になります。

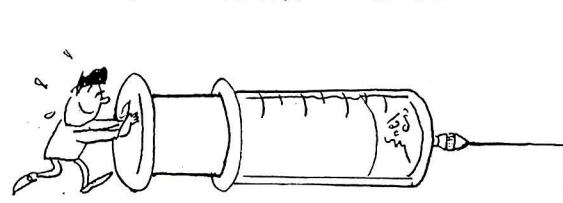
この表でもわかるように、皆さんが納められる保険税は、総額で一億八〇〇万円という大きい金額になりますが、町が私たちに代わって病院などへ支払う医療費（七割は町が負担し、三割は本人が病院の窓口で支払う）や助産費、葬祭費等の合計は、二億二五五万円です。

つまり役場では、私たちから徴収した税金を倍以上にして私たちに返している勘定になります。

この表でもわかるように、皆さんに使われているのです。もし大きな病気をしたとき保険が使えなかつたら、どうなるでしょうか。病気で三万円支払えばよかつたものが十万円もとられることがあります。

この意味で私たちの健康を守る保険税を、こころよく納めていきたいものです。

## ムダな医療は増税のもと



患者の方から必要以上の要求は困ります

### 巡回交通事故相談

八月十二日 午前十時～午後三時

入善町役場

サア夏だ

体をきたえよう



# 水洗便所の新設は

## 保健所に届出を

水洗便所にするためにし尿净化を設ける場合、清掃法ではし尿净化を設置届を保健所に提出するよう定めています。また、工事が終っても使用は竣工検査が済んでからにして下さい。

一般家庭に設置されているし尿净化は、水洗便所から排出される污水のみを生物化学的に汚染物を除去して消毒した後、環境衛生上や利水上に支障の生ずるおそれのない水域(河川など)に放流するのです。従つて悪臭を出さないためには、浄化の構造や機能を良く知り、



## お知らせ

### 看護婦さんヤアーイ

県下で1,600人不足

化そうを設ける場合、清掃法ではし尿净化を設置届を保健所に提出するよう定めています。また、工事が終っても使用は竣工検査が済んでからにして下さい。

一般家庭に設置されているし尿净化は、水洗便所から排出される污水のみを生物化学的に汚染物を除去して消毒した後、環境衛生上や利水上に支障の生ずるおそれのない水域(河川など)に放流するのです。従つて悪臭を出さないためには、浄化の構造や機能を良く知り、

正しい利用方法に十分注意することが肝要ですが、維持管理のできない方は、維持管理業者へお問い合わせ下さい。

一ヶ月間は、夏の交通事故の絶滅を目指として、夏の交通事故防止県民運動が展開されます。

この運動の重点推進事項は次

のとおりですが、歩く人も車を運転する人も、人ごとは思わず、交通ルールは正しく守りましょう。

この運動の重点推進事項は次

のとおりですが、歩く人も車を運転する人も、人ごとは思わず、交通ルールは正しく守りま

す。交通ルールは正しく守りま

八月一日から三十一日までの一ヶ月間は、夏の交通事故の絶滅を目指として、夏の交通事故防止県民運動が展開されます。

この運動の重点推進事項は次

のとおりですが、歩く人も車を運転する人も、人ごとは思わず、交通ルールは正しく守りま

す。交通ルールは正しく守りま

す。交通ルールは正しく守りま

す。交通ルールは正しく守りま

す。交通ルールは正しく守りま

す。交通ルールは正しく守りま

す。交通ルールは正しく守りま

す。交通ルールは正しく守りま

## 自分のためにも守ろう交通法規

### 夏の交通事故の絶滅を!!

#### ● 安全な横断の励行

#### ○ 近くに横断

#### ○ 歩道や横断歩道橋のある所は、少し遠まわり

#### ○ 信号が青になつても、右折・左折の車に注意しながら渡る。

#### ○ ななめ横断、はずれ横断は絶対にしない。

#### ○ 車のすぐ前やすぐ後の横断、または見通しの悪いところでの横断は特に注意して渡る。

#### ○ 右側歩道通行の励行

#### ○ ななめ横断、はずれ横断は絶対にしない。

#### ○ 車のすぐ前やすぐ後の横断、または見通しの悪いところでの横断は特に注意して渡る。

#### ○ 歩道歩道通行の励行

#### ○ ななめ横断、はずれ横断は絶対にしない。

#### ○ 車のすぐ前やすぐ後の横断、または見通しの悪いところでの横断は特に注意して渡る。

#### ○ 歩道歩道通行の励行

#### ○ ななめ横断、はずれ横断は絶対にしない。

#### ○ 車のすぐ前やすぐ後の横断、または見通しの悪いところでの横断は特に注意して渡る。

#### ○ 日傘や大きな帽子を着用したときは、特に注意して歩く。

#### ● 酒よい運転、無免許運転および疲労運転の防止

#### ○ 酒を飲んだら絶対運転しない

#### ○ 無免許者に車を運転させない

#### ○ よう、車の管理を厳重にする

#### ○ 睡眠不足の時や疲労が激しい時はハンドルを握らない。

#### ● 追突事故防止のための運転技術の向上

#### ○ スピードに合わせて車間距離

#### ● 戰没者のごめい福を祈り八月十五日の正午には黙とういたしましよう

希望しない方についても就業を把握調査をしております。該当される方は、早めに県厚生部医務課か、黒部保健所にぜひご連絡下さい。

私たちの国では国民の祝日を十二日と定めておりますが、日常からもっと国旗に親しみと誇りをもち、国民の祝日にはそろって国旗をかかげましょう。

戦没者のごめい福を祈り八月十五日の正午には黙とういたしましよう

全国戦没者追悼式



10月1日には

国勢調査が行なわれます

例を持って各世帯をお伺いしますので、各世帯で記入のうえ回収に回る日まで保存下さい。

”住みよい町づくり”に直結するこのような統計調査は、先行なわれた世界農林業センサスや商業統計調査等と共に、たゞへん貴重な資料となつてゐることに思いを新たにして、正しく記入したいものです。

# 能力再開発訓練で 再就職を有利に!!

(魚津公共職業安定所)

近年の産業界は自覚しい発展をみせている一方、商店や工場等では人手不足が深刻となり、特に産業界では、技能を身につけた人を求めています。

そこで魚津公共職業安定所では、あなたの職業を安定させるため、再就職を有利にするために、能力再開発訓練の利用をお奨めしています。

転職のため新たな職業について考えておいでの方、農漁業者で新規に職業につこうと考えておいでの方、そして、停年後も引き続き職業につこうと考えがでしょうか。ぜひ、この能力再開発訓練を受けられてはいかがでしょうか。

能力再開発訓練

は下の表のよう

に行なわれております。

## ▼訓練中の特典

- ・授業料は無料
- ・失業保険受給者については

ます。  
くわしくは魚津公共職業安定所(魚津市大町八一の二)電話

魚津二局〇三六五へ問い合わせ下さい

心あたりはありませんか?

くりに協力を呼びかけております。

一人一人の心がま

えが積み重なつて

明るい住みよい町ができるこ

とに、今一度自分の胸に手をおい

て考えてみたいのです

うどうと川へゴミを捨てたり、

子供を抱っこして川へ大小便を

空転していることに情けなく思

つた方も多いことでしょう。

町の民生課では、これらの実

態を写真にとり、きれいな町づ

## 非常識な母親に



61-731

(7) 広報にゆうぜん

ちよつとまで!!ごみは必ずごみ箱へ

(入中二)長島良子

八 桜 入 舟 帆 入 上 古 黒 部 入 桜 下 住 所 保護者名

九 墓 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

十 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

十一 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

十二 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

十三 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

十四 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

十五 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

十六 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

十七 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

十八 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

十九 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

二十 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿一 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿二 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿三 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿四 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿五 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿六 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿七 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿八 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿九 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

三十 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

卅一 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

卅二 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

卅三 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

卅四 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

卅五 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

卅六 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

卅七 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

卅八 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

卅九 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

四十 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿一 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿二 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿三 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿四 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿五 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿六 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿七 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿八 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿九 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

三十 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

卅一 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

卅二 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

卅三 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

卅四 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

卅五 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

卅六 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

卅七 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

卅八 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

卅九 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

四十 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿一 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿二 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿三 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿四 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿五 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿六 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿七 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

廿八 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

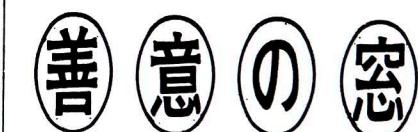
廿九 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

三十 舟 入 上 古 黑 部 入 桜 下 住 所 保護者名

おめでた(出生)  
おくやみ

おくやみ(死亡)

訓練所名	訓練職種	入所時期	訓練期間
入善高等技能学校	板金	4月	1ヶ年間
黒部	木工	ク	ク
滑川	溶接	4.10月	6ヶ月間
富山	配管	ク	ク
井上簿記学校 (総訓委託)	経理事務	4.7.10.1月	3ヶ月間
	建設機械運転	4.8.12月	4ヶ月間
小杉職業訓練センター	ブロック建築	4.7.10.1月	6ヶ月間
	塗装	ク	ク
	溶接	ク	ク
	建築大工	4月	1ヶ年間



あたたかいご芳志を感謝いたします。

入善町善意銀行

現金の部 (6月1日~30日)

預託(寄附)	内 容
入膳 山本正勝	5.000円 社会事業資金として毎月5.000円
欄山 中川良平	亡母くさの供養として社会事業資金に10.000円
計 2件	15.000円

物品の部	内 容
入膳 扇谷省	衣類89点 セーナ苑24点 ルンビニ園65点

(7) 広報にゆうぜん

ちよつとまで!!ごみは必ずごみ箱へ

(入小五)米沢雅美

# 家庭裁判所だより

## 未成年者と後見人について

ゆうぜんに報

未成年者は、ふつう父母の保護をうけて育てられます。が、父母が死亡したりした場合に、その未成年者を父母に代って監護教育し、財産上の利益を守るために、後見の制度が設けられています。家庭裁判所は、それについて未成年者の後見人を選任したり、後見人の職務が適切に行なわれるよう監督したりします。

そこで、後見人の役割としては、未成年者の身分上の行為についての代理、あるいは未成年者の財産の管理、処分などが考えられます。が、未成年者と後見人のあいだに親子のような自然の愛情を期待出来ませんので、たとえば後見人に選任されから1ヶ月以内に未成年者の財産を調査してその目録をつくるなど、後見人の役割についてもこのましい義務が定められています。

## 計画的にご利用下さい

「入善町立図書館」



内職巡回相談		新着図書	
7月28日	午後1時~3時30分	工藤暢須	開館時間(祝祭日は休館)
期	場	東京堂出版	午前八時三〇分より
時	所	野間清六	午後七時(八月中は
場		広田栄太郎	午後一時より
		金岡秀友	午後五時まで
毛糸の手編み、機械編みなどを、手軽な内職を斡旋いたします。		・平日	
一度だけを生きる愛		佐古純一郎	
星の事典		田々宮英太郎	
現代ホーム百科事典		池田大作	
天文年鑑編集委員会		曽野綾子	
天文年鑑		金沢誠	
天文年鑑編集委員会		家光協会	
天文年鑑		山本茂夫	
天文年鑑編集委員会		昭和維新	
天文年鑑		田々宮英太郎	
天文年鑑編集委員会		アメリカ黒人解放史	
天文年鑑		猿谷要	
天文年鑑編集委員会		人生指針	
天文年鑑		大田昌秀	
天文年鑑編集委員会		大正、昭和事件史	
天文年鑑		小泉輝三郎	
天文年鑑編集委員会		片柳忠男	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		藤原弘達	
天文年鑑		池田大作	
天文年鑑編集委員会		岡部伊都子	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	
天文年鑑		佐古純一郎	
天文年鑑編集委員会		佐古純一郎	